



大分県女性農業経営士養成講座の開講 / 第1回経営セミナーの開催

2015/9/4

幅広い分野で女性の活躍が期待される今、女性農業者にも経営マインド、販売、労務及び財務のマネジメント能力が求められています。そこで9月4日に大分県都市農村交流研修館にて大分県女性農業経営士養成講座を開講しました。

県下から集まった受講生（25名）は、これから2年間にわたり講座を通じて経営のノウハウを学びながら、自らの夢の実現のため経営ビジョンを作成・実践し、経営者としての資質向上を図っていきます。

開講にあたり大分県の尾野農林水産部長から農業情勢に関する講話をいただくとともに、女性の強みを発揮した経営を展開するようエールをいただきました。各受講生から自己紹介をしていただき緊張が解けた後はいよいよ講義です。第1回目となる講義のテーマは「経営マインド」。“農業生産者”ではなく経営者“として意識を高めます。まず大分県研究普及課後藤主幹から“経営者の役割、経営理念、経営戦略の必要性について”講義をいただきました。



無料託児あり。



(株) サラダボウル代表取締役の田中進氏。
「農業は『ひと』をつくり『しごと』をつくり『ちいき』をつくる」



安達会長のご挨拶

午後は、受講生以外の会員も参加し、農業の第一線で活躍している農業経営者からの講演です。講師は10年間銀行や外資系保険会社に勤めた後、農業が持つ大きな可能性を感じ農業へ入られた山梨県の農業生産法人(株) サラダボウル代表取締役の田中進氏。これまでの農業の『新しいカタチ』を創るための取り組み、スタッフの育成及び今後の展望について講演をいただきました。農業未経験者のスタッフの段取りが悪く、連日夜遅くまで作業に追われる状況を改善するために導入した“5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）”活動やほ場で誰がいつでもどんな作業を行うかといった「情報の見える化」の取組は、出席者から共感を得たようで“5Sの重要性を改めて実感した”、“導入したい”との感想をいただきました。農業の『新しいカタチ』を創るなかで農業を職業として楽しみ、そしてしっかり儲かる人を育てていきたいという田中氏の思いが伝わる講演となりました。

★農業生産法人(株) サラダボウル <http://www.salad-bowl.jp/>